



～ 校訓 ～ 「立志 善心 叡智」

～ 学校教育目標～

「学び合い 支え合い 磨き合い」
～さらなる高みを目指して～

大綱米プロジェクトに今年も参加させていただきます！

大綱交流館に事務局をおく「西仙北地域学校協働本部」が主催する「刈和野大綱米プロジェクト」に今年も参加させていただくことになり、5月21日(火)田植えを行いました。参加は本校3年生のほかに、西仙北高校全校生徒と西仙北小学校5年生と一緒にいました。あいにくの曇り空で風も冷たく、短パン・Tシャツの生徒には寒さの厳しい田植えとなりました。それでも生徒は歴史ある大綱引きのわらを作るためと使命感をもって頑張りました。一歩目、二歩目までは久しぶりの泥の感覚に黄色い歓声も聞こえてきましたが、慣れると次々に苗が植えられました。なかにはバランスを崩して(自ら?)泥まみれになる生徒もいましたが、貴重な農業体験と大綱引きに関わって地域に貢献できる楽しい活動をさせていただきました。ご協力いただいた刈和野大綱ファーム圃場の皆様、ありがとうございました。



大綱米プロジェクトでは、この後、稲刈り、綱よい、綱のぼしと体験させていただく予定です。本校では、それらの活動を通して、地域の一員としてのあり方や役割について考えるとともに、伝統文化を継承し、地域に貢献できる中学生を育てたいと考えています。その他、西仙北支所の皆様のお力をお借りして、「西仙北中学校地域活性化プロジェクト」に取り組んだり、地域の事業所様からご協力をいただいての「職場体験学習」も計画しています。地域との連携を継続し、地域に開かれ、地域とともにある学校を目指していきますので、引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

避難訓練を実施しました 安全で安心な学校にします！

5月24日(金)、震度5強の地震から火災が発生したという想定で避難訓練を実施しました。今回は大曲消防署西仙北分署の方より指導助言をいただくとともに、消防署の皆さんが設置して下さった体に影響のない煙を充満させるテント状の設備を利用し、煙道体験をすることができました。生徒はそれぞれ真剣な表情で参加しました。

今年には能登半島地震から始まってしまいました。あっという間に5カ月が経ちましたが未だに避難生活をしている方も多くいます。一日も早い復興を願いながら、いつ起こるか分からない自然災害に対して、最小限の被害ですむように準備しておくことが大切です。本校では、大仙市総合防災課、西仙北支所の担当者と連携し、避難所となった場合の避難物資も備蓄しています。この後も、計画に従って様々な状況での避難訓練を実施し、いざという時の心の準備につなげたいと考えています。これを機会に、ご家庭でも災害への備えを見直してみたいはいかがでしょうか。



交通事故に関する市教委からの指導指示について

大仙市内で、小中学生の交通事故が増えているとのこと。次のように指導の指示がありましたので、保護者の皆様にもお知らせをし、交通事故防止への声かけのご協力をお願いします。

児童生徒に対しては、①道路を横断する際は、横断歩道を渡ること。その際、車両の停止を含め、左右の安全をしっかりと確認すること。②信号のある交差点を渡る際であっても、左右の安全をしっかりと確認すること。

教職員に対しても、①交差点では、信号や一時停止などの標識をしっかりと確認すること。②歩道を車で横切の際は、歩行者や自転車に十分気を付けること。とありました。

毎日の通勤・通学のほか、練習試合等の移動で保護者の皆様にご協力いただくことも多くあります。「教職員」を「車の運転手」と置き換えていただき、事故なく移動ができるように、今後ともよろしくご協力いたします。

